

# KP TIMES

## 2024年7月号

発行：(株)ケイジパック 本社  
〒601-8392  
京都市南区吉祥院内河原町10番地  
TEL 075-315-3151 / FAX 075-315-3152



当社は、京都・滋賀・福井に拠点を置き、ダンボールケースをメインとしたあらゆる包装資材を取り扱っている会社です。

### 環境ラベル (エコマーク) とは？



みなさん、エコマークを知っていますか？  
文房具や紙製品、びん、食器など、実は私たちの身の回りにはエコマークがついている商品がたくさんあります。環境負荷を減らし持続可能な社会の実現を目指しているエコマーク。その仕組みやマークがついている商品について知ってみましょう。

※1商品やサービスがどのように環境にやさしいかを伝えるマークや目印  
※2ライフサイクル全体で環境負荷が少ないと認められた製品・サービスの目印

#### 再生紙使用 (R) マーク

再生紙の古紙パルプ配合率を表示するためのマーク。環境への配慮を示す重要なシンボルとして普及。製品が再生紙を使用して作られたことを示すもので、環境への負荷を軽減するために重要な存在。



古紙パルプ配合率100%再生紙を使用

#### バイオマス マーク

生物由来の資源 (バイオマス) を利用した商品に表示できる目印。今まで廃棄されていたり、使われていなかったりした生物資源 (バイオマス) を利用することで、化石資源の使用を抑制し、地球温暖化ガスを減らすことができるという考え方に基づいている。



エコマーク製品を選択することで、私たち消費者が持続可能な社会の形成の取り組みを支えることができます。

これから買い物をする時に、エコマークのついている商品をぜひ探してみてください。



製作事例など公開！  
ぜひチェックお願いいたします！



@keiji\_pack



HP

<https://keiji-p.com/>



# 経済効果をもたらす 環境問題を考える



半導体の受託生産で世界最大手の台湾企業「TSMC」が、日本では初めてとなる巨大な工場を熊本県菊陽町に完成させました（敷地面積東京ドーム4.5個分）。投資額は日本円で約1兆2900億円に上ります。

新工場最寄りのJR豊肥本線「原水駅」では、かつては閑散とした無人駅であったのがウソのように通勤時間帯は多くの利用客で混雑し行列ができるようになりました。地元は経済波及効果への期待に沸いています。

しかし、環境という側面だけにフォーカスしてみても、TSMCという“黒船”がまちの景色を一変させていく様子は、喜ばしい事ばかりではないようです。



## 「排水問題」や「交通渋滞問題」が深刻化



一般的に半導体関連の工場では、洗浄などのために大量の水を使用します。

TSMCの新工場でも多くの水が使われる予定で、使ったあとの排水は1日あたり約1万トンとも見込まれています。その排水は地下の配管を通して、約10キロ離れた熊本市の「熊本北部浄化センター」に流れ込みます。

本来であれば消毒などを行って処理したあと、近くの坪井川に放流しますが、センターでは放流前の水を月に3回採取して検査し、県のホームページで結果を公表することにしています。

しかし、熊本県が去年8月、台湾で半導体関連企業が立地するエリアの水質などを調べたところ、一部で日本の基準を満たしていないことが分かりました。それを受け、熊本県はTSMCに日本の排水基準等を守るよう要請しています。

また、菊陽町と周辺では交通渋滞も深刻になっていて、地元の人暮らしに影響が及んでいるようです。そんな中、TSMCは2月、熊本県内に第2工場を建設する計画も発表しました。

嬉しい経済波及効果ももたらす巨大な“黒船”  
環境問題とも向き合いながら、日本の将来を見つめていけるよう、この黒船と付き合っていけるといいですね。

